

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医学特論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	副田 恵子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸専門学校最終目標としてあるのは、国家試験に合格し免許を取得することにある。本時は、はり師・きゅう師の国家試験の合格を目指し、その試験対策に重点を置いた授業を行う。本科目では東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論を中心に行う						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
該当科目テキスト						
《授業外における学習方法》						
教科書を用いて、国家試験の過去に出題された内容をチェックし、覚えること。 演習において理解不足であった範囲についてはしっかりと再学習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
必ず、予習復習を実施し、国家試験合格に向けての知識を固める行動をとること。日々の積み重ねが成果となります。1日も無駄にしない過ごし方をしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義を通じての到達目標	演習問題に70%以上正答できる。		東洋医学概論 経絡経穴概論 配布プリント	国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論(東洋系)に関する演習問題				
第2回	講義を通じての到達目標	演習問題に70%以上正答できる。		東洋医学概論 経絡経穴概論 配布プリント	国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと また、前回の範囲で誤った箇所の知識を確実にに入れておくこと	
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論(東洋系)に関する演習問題				
第3回	講義を通じての到達目標	演習問題に70%以上正答できる。		東洋医学概論 経絡経穴概論 配布プリント	国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと また、前回の範囲で誤った箇所の知識を確実にに入れておくこと	
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論(東洋系)に関する演習問題				
第4回	講義を通じての到達目標	演習問題に70%以上正答できる。		東洋医学概論 経絡経穴概論 配布プリント	国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと また、前回の範囲で誤った箇所の知識を確実にに入れておくこと	
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論(東洋系)に関する演習問題				
第5回	講義を通じての到達目標	演習問題に70%以上正答できる。		東洋医学概論 経絡経穴概論 配布プリント	国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと また、前回の範囲で誤った箇所の知識を確実にに入れておくこと	
	各コマにおける授業予定	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論(東洋系)に関する演習問題				

